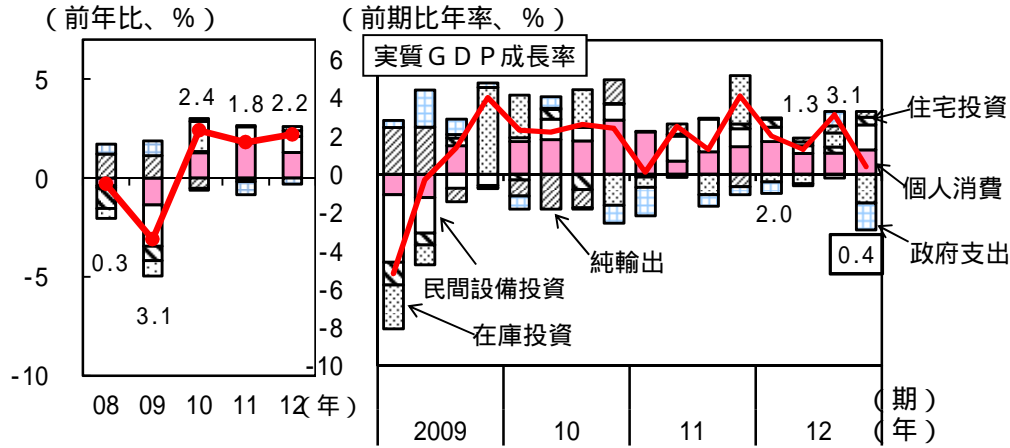


1. アメリカ

アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。

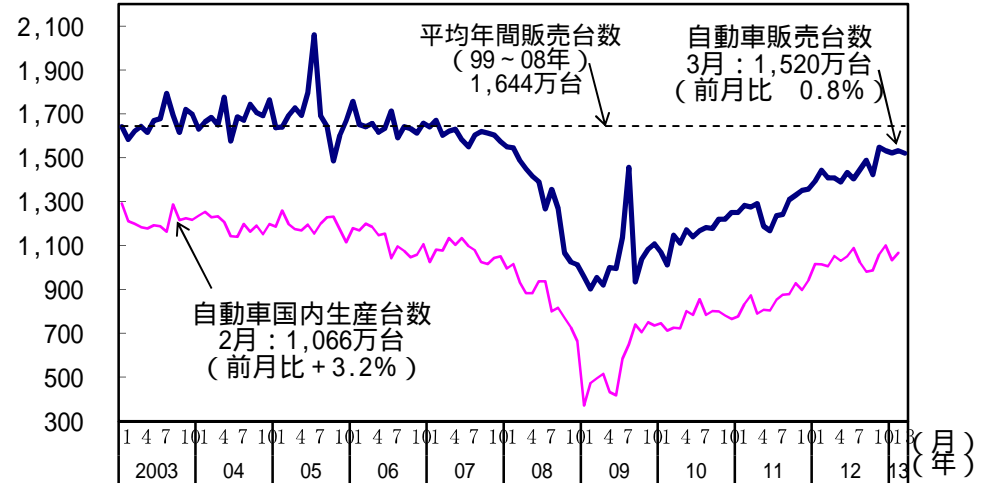
実質GDP成長率（3次推計値）
2012年10～12月期は前期比年率+0.4%成長



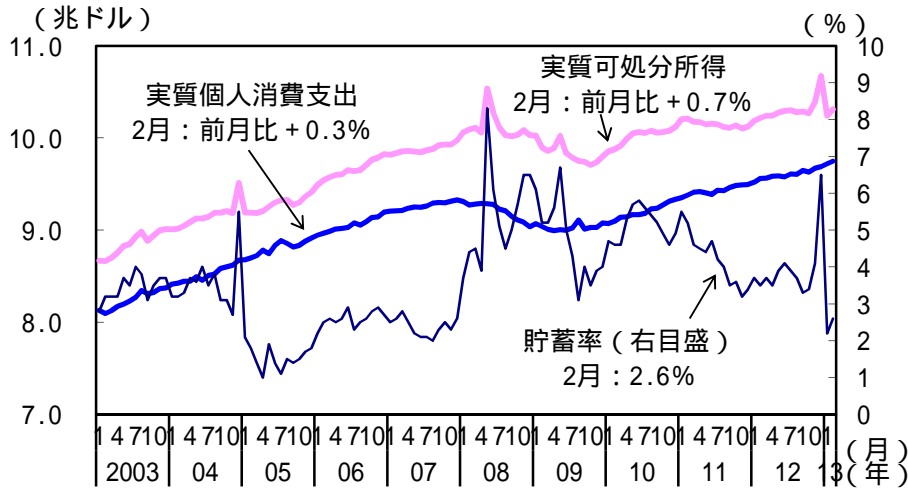
(備考) 2012年10～12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.3、民間設備投資：1.3、住宅投資：0.4、在庫投資：1.5、政府支出：1.4、純輸出：0.3。

自動車販売台数はおおむね横ばい

(年率、万台)



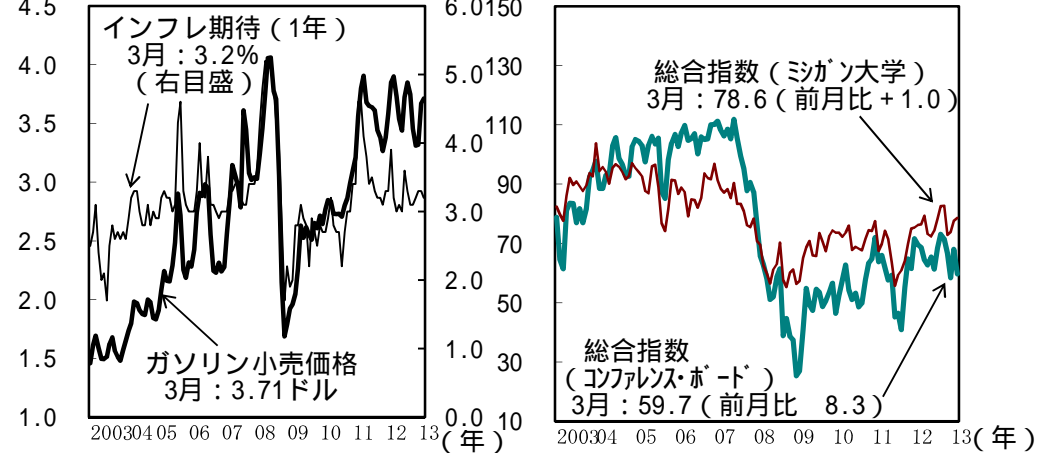
消費は緩やかな増加傾向



消費者信頼感指数はおおむね横ばい

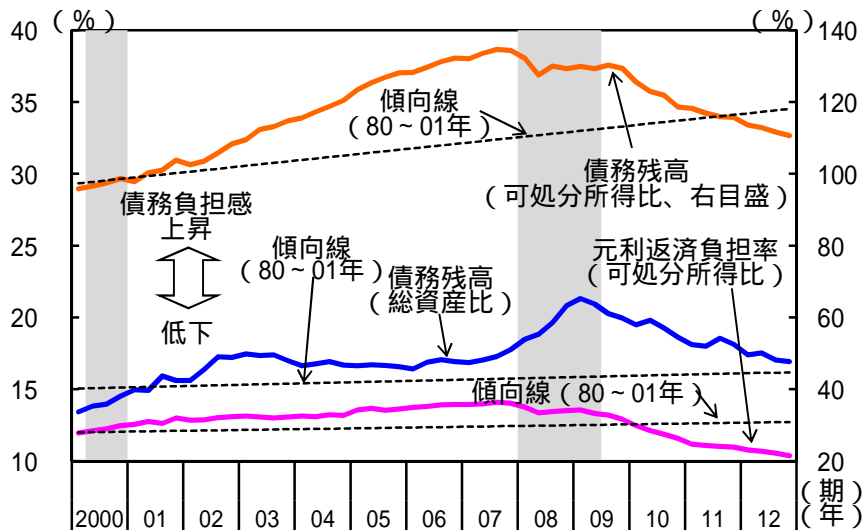
(ドル/ガロン)

(%) (1985年 = 100)



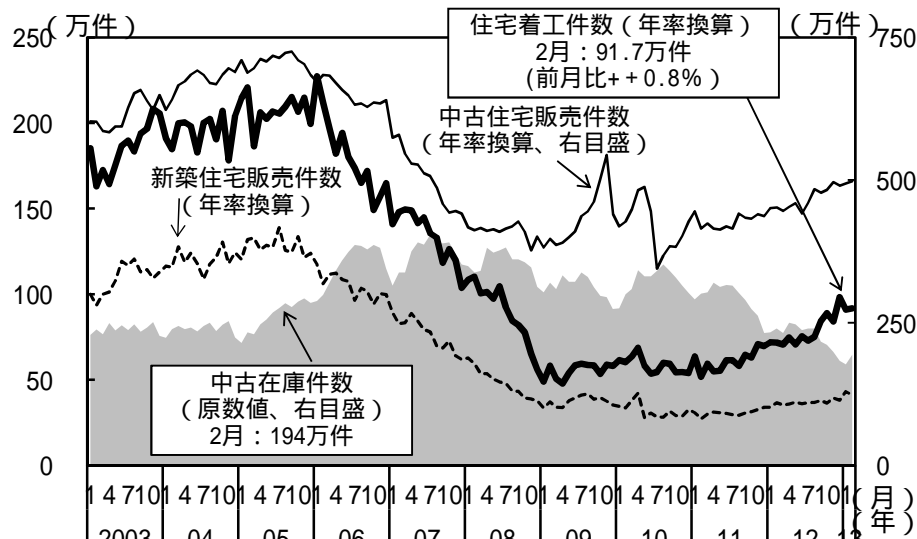
(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

家計のバランスシート調整は継続



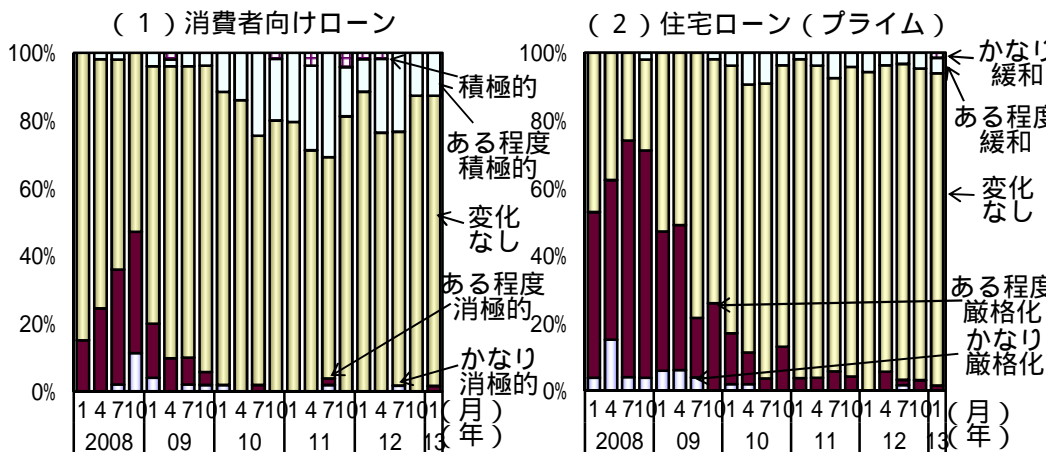
(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

住宅着工は低水準にあるものの、堅調に増加



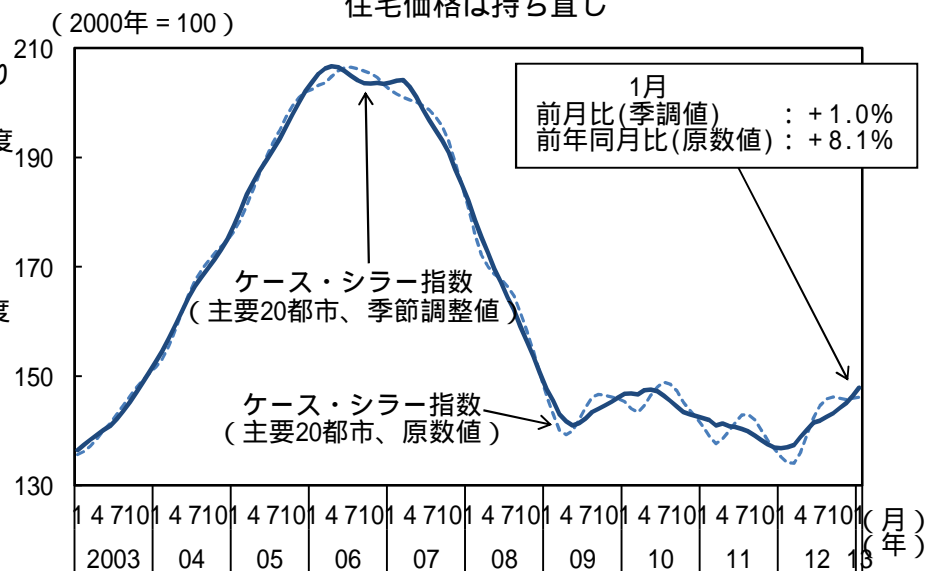
(備考) 13年2月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.7ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(1月末)は5.2ヵ月分に相当。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

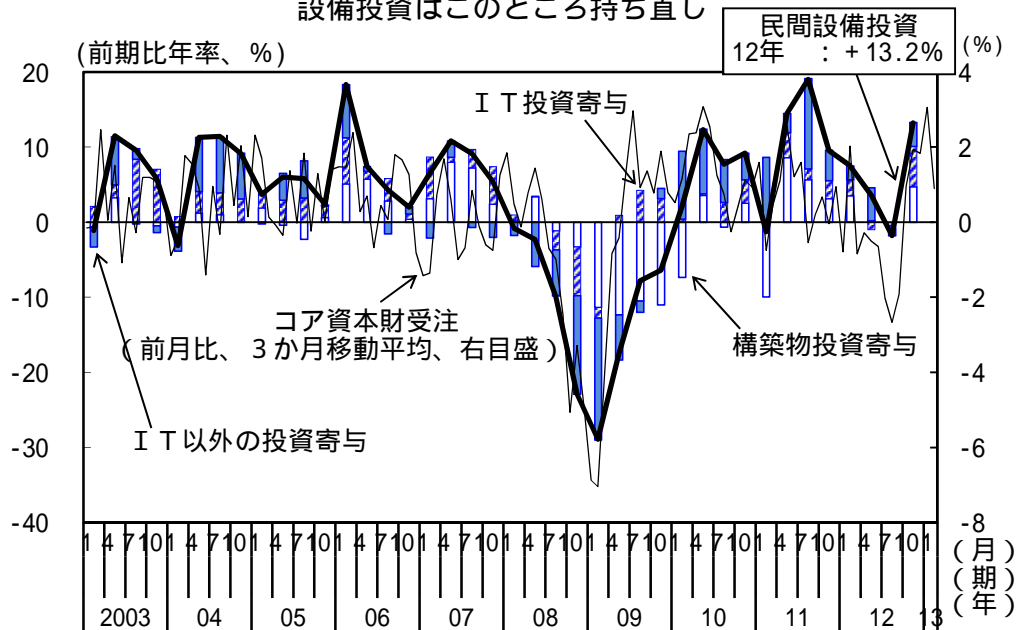


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

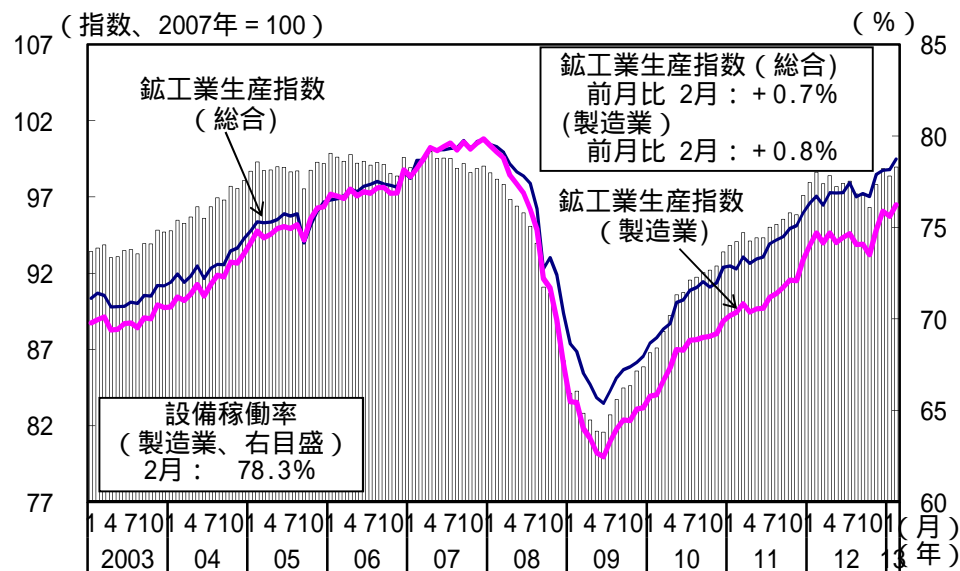
住宅価格は持ち直し



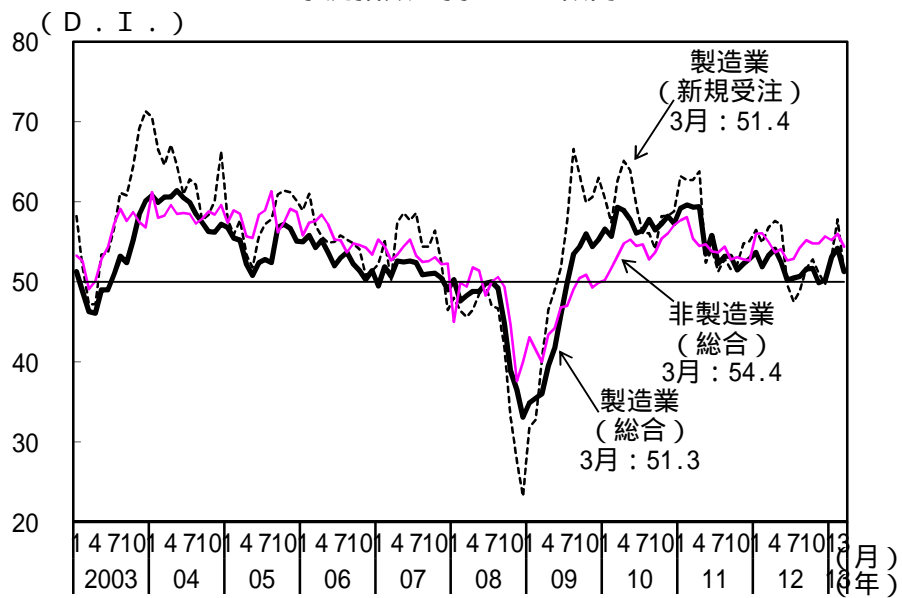
設備投資はこのところ持ち直し



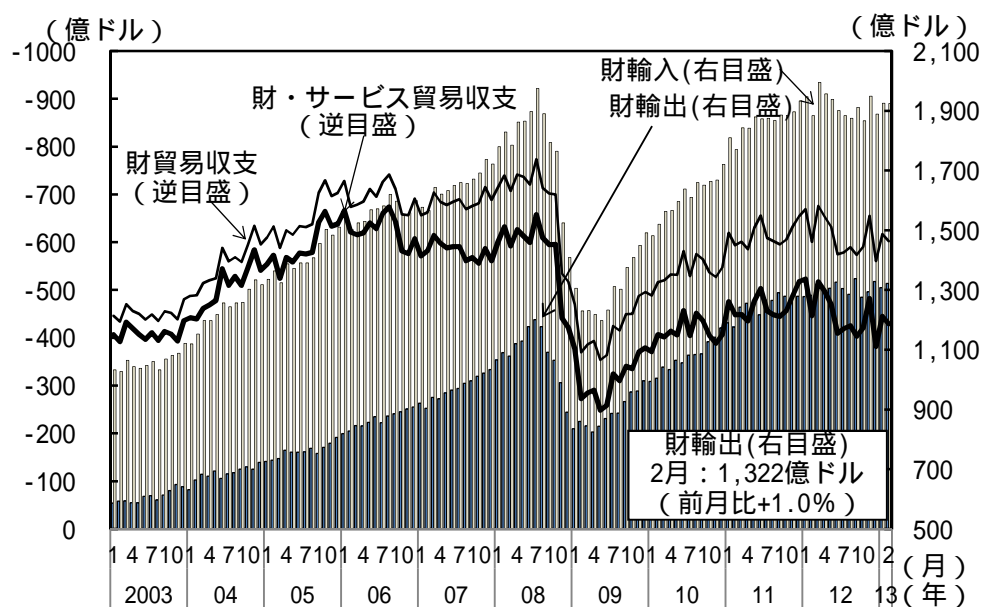
生産は底堅く推移



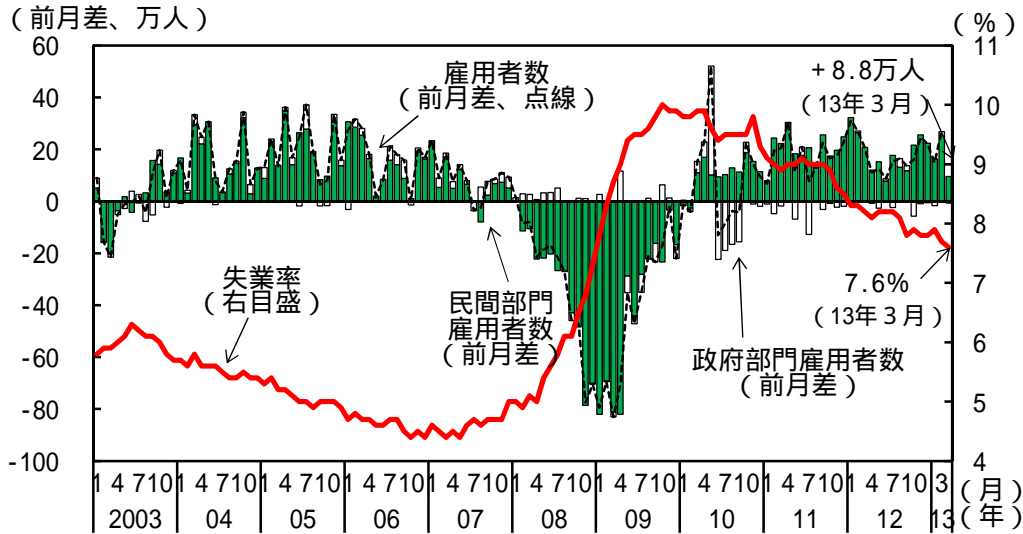
景況指数は持ち直し傾向



財輸出はおおむね横ばい

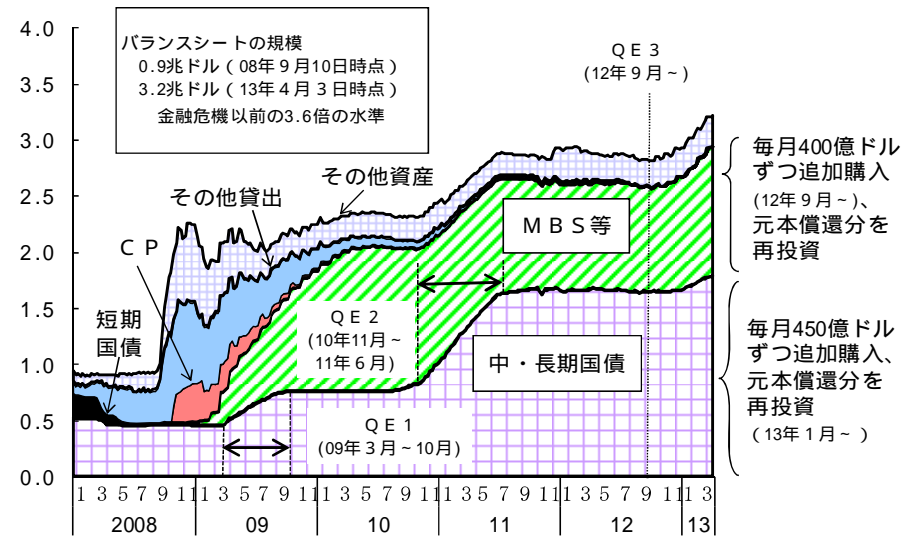


雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向



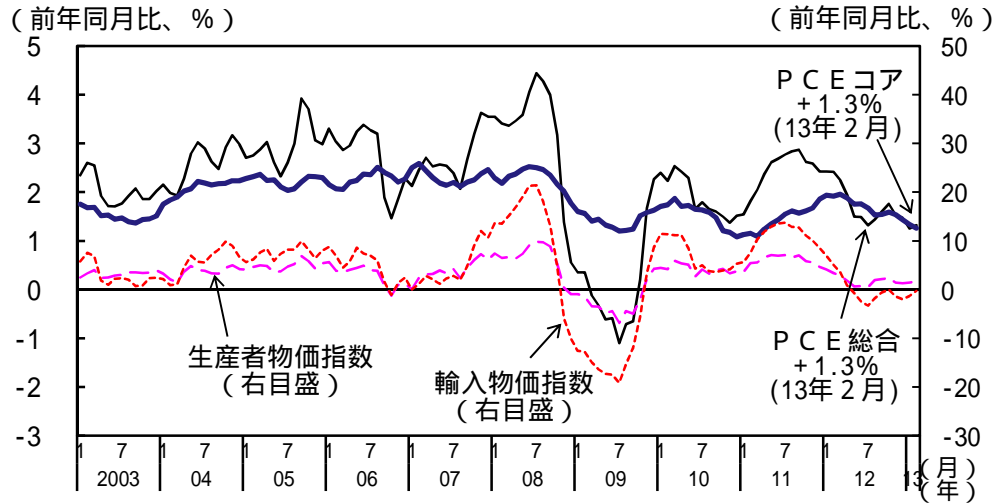
(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.9万人、10年以降の雇用者数の増減は +582.2万人。

F E Dのバランスシート (資産サイド)



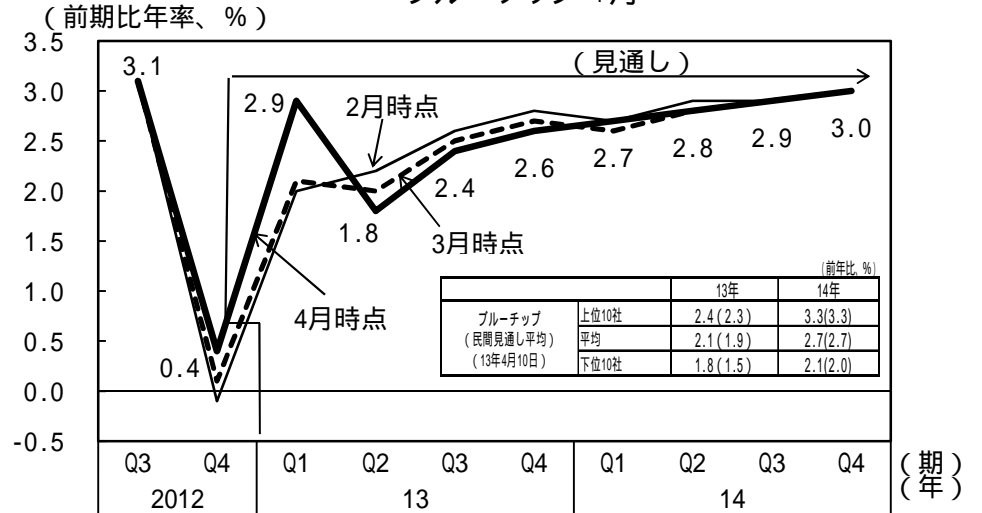
(備考) 連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。

コア物価上昇率はやや低下



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

ブルーチップ 4月



(備考) ブルーチップのカッコ内は、13年3月10日時点の見通し。